



希望のぞみを届けます



| Vol.118 2021年6月議会 |

田中のぞみ★市政News

コロナ禍

市独自支援の強化を

Q 長引くコロナ禍で市民の状況をどう分析しているのか。

A 生活保護の申請が増えている。昨年度は、緊急小口貸付け7,513件、総合支援貸し付け5,197件、住宅確保給付金573件、国保料の減免1,763件。個人事業主や非正規雇用の方から相談が多く寄せられており、コロナが収束するまでの間は引き続き厳しい状況が予想される。

ひとり親支援

寄り添う子育て支援を

Q 母子家庭への窓口対応は尋問のようだ。シングルマザーは、自由恋愛も父親との交流も許されないのか。児童扶養手当が打ち切られるケースもあるが。

A 事実婚の認定には、訪問だけでなく定期的な生活費の補助が条件。機械的に判断することがないように窓口にも徹底する。



TOPICS

選択的夫婦別姓の陳情

「賛成」は採択、「反対」不採択

今議会には、選択的夫婦別姓の法制化に賛成と反対の2つの陳情が提出されていました。自民党系会派の賛否が分かれ、結果的に賛成の陳情は採択、反対の陳情は不採択となりました。委員会では自民党議員が「夫婦別姓は国家の根源に関わる問題であり、日本の家族制度を揺るがすわけにはいかない(から反対)」と時代錯誤の理由を述べました。



岡山市が生理用品配布

生理用品が買えず学校を休む等「生理の貧困」が全国的に指摘されています。新日本婦人の会や女性市議有志が、学校や公共施設に生理用品を常備すること等を市に申し入れました。市は、まず、災害備蓄分を小中学校や大学等に配布しました。さらに、さんかく岡山でトイレへの常備の試行を始めます。



災害対策 コーナー



感染症等で自宅療養中に避難が必要になった場合は、自宅療養の際に指示された専用電話に連絡すれば、専用の避難所を案内されます。



洪水・土砂災害ハザードマップを今年度中に更新。今年の出水期には間に合いません。



浸水(内水)ハザードマップ学区版が、4月から市のHPでも公開されました。